「スギ舌下免疫療法およびダニ舌下免疫療法の同時治療の効果・安全性の評価」に参加中の患者様へ

（本研究に伴う解析結果の提供および二次検体利用について）

〇本学ではこれまで徳島大学、ゆたクリニック、せの耳鼻咽喉科、なす耳鼻咽喉科、ありかた耳鼻咽喉科と共同研究を行っておりましたが、福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科における「スギ花粉アレルゲン免疫療法の治療効果予測法についての研究」（20160057）（研究実施期間：2016 年 10 月 3 日～2029 年 12 月 31 日（登録締切日 2024 年 12 月 31 日））および筑波大学医学医療系遺伝医学における「免疫関連疾患および形質の免疫応答遺伝子の解析」（278-2）（研究実施期間：2019 年 5 月 24 日～2023 年 11 月 1 日（症例登録期間　2019 年 5 月 24 日～2023 年 10 月 1 日））への研究協力を行うことといたしました。また、本学の「アレルゲン舌下免疫療法における免疫学的作用機序の解明」(R2023-087)（研究実施期間：西暦 2023 年 11 月 22 日 ～ 2033 年 09 月 30 日（症例登録期間：2023 年 11 月 22 日 ～ 2030 年 9 月 30 日））への研究協力を行います。

〇本研究で取得した試料・情報の他研究への情報・検体提供については、「スギ舌下免疫療法およびダニ舌下免疫療法の同時治療の効果・安全性の評価」（R2017-303）にて本学の倫理審査委員会で承認されています。

〇 福井大学の研究では、アレルゲン刺激で生じるサイトカイン産生などの免疫反応について検討し、アレルゲン免疫治療の治療効果予測を行うことを目的としております。福井大学へは本学で行った免疫応答解析の検討結果の一部を情報提供します。

〇 筑波大学の研究では、アレルゲン免疫治療の免疫応答遺伝子について詳細に解析して、治療効果の高いアレルゲンペプチドや、治療効果予測を行うことを目的としております。研究方法としては、提供した血液から DNA、RNA 等の核酸を抽出して主に T 細胞レセプター等の免疫細胞レパトア解析を行います。レパトア（repertoire）は、レパートリー（repertory）と同義のフランス語です。主要なリンパ球である T 細胞は、抗原を認識する受容体分子である T 細胞レセプター（TCR）を発現しています。個々に異なる特異性を持った TCR によって、特徴づけられたリンパ球のコレクションを TCR レパトアといいます。レパトア解析は、免疫系の多様性を評価するために有用な方法の一つです。筑波大学へは本学で使用した検体の残りを二次利用として提供します。本学から提供された検体を用いて個人の遺伝情報を解析することはいたしません。

〇本学 R2023-087 の研究では血液中の T 細胞や B 細胞、樹状細胞、自然免疫細胞など様々な免疫細胞についてアレルゲン刺激で生じるサイトカイン産生の変化や細胞数の変化を検討することにより、どういったメカニズムで舌下免疫療法が効果を発揮しているのかを明らかにすることを目的としております。

〇 これらの研究では、患者個人が特定できないように匿名化された提供も求められており、当院としても、個人情報保護を十分に配慮したうえで、協力をすることといたします。

〇 当院の患者様におきましては、上記内容について同意することができない事項がありましたらお申し出くださいますようお願い申し上げます。申し出のない場合は、同意していただけたものとして取り扱いいたします。なお、この同意は、いつでも撤回、変更ができます。

〇共同研究機関名称及び研究責任者の氏名

福井大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科　研究責任者：教授　藤枝重治
筑波大学　医学医療系遺伝医学　研究責任者：教授　野口恵美子
徳島大学 先端酵素学研究所　研究責任者：特任教授　木戸博
ゆたクリニック　研究責任者：院長 湯田厚司
せの耳鼻咽喉科 研究責任者：院長 瀬野悟史
なす耳鼻咽喉科 研究責任者：院長 那須準子
ありかた耳鼻咽喉科 研究責任者：院長 有方雅彦

〇 本件に関する相談や問い合わせは、以下の窓口にご連絡くださいますようお願い申し上げます。

相談窓口担当者（本学研究責任者）：
滋賀医科大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科　准教授　大脇成広
連絡先：
住所：大津市瀬田月輪町
電話：077-548-2111（内線 2261）
FAX: 077-548-2783
E-mail: hqotola@belle.shiga-med.ac.jp